

# もっと良い

## 「子ども・子育てビジョン」

立憲民主党は「チルドレン・ファースト」  
～分断をなくし社会全体で子どもの育ちを支える

立憲民主党は、それぞれの多様な生き方や人権を尊重するとともに、結婚や子どもをもちたい人の希望を叶える社会をつくれます。子ども・子育て予算を増やし、**結婚・出産・子育て・育ちや学びの壁**を取り除きます。

「控除」から  
手当へ

「負担」から  
安心へ

チルドレン  
ファースト

所得制限  
撤廃

結婚希望  
未婚者の  
増加を直視

### 立憲民主党 5つの重点政策

1. 児童手当拡充（所得制限をなくし、  
高校卒業年次まで一律15000円を給付）
2. 教育の無償化（幼児教育・保育から高等教育まで）  
と公立小中学校の給食の無償化
3. 保育士配置基準の見直しと給特法の抜本的見直し
4. 賃上げの加速と不本意非正規雇用者を減らしていく
5. 若年カップルや子育て世代も利用できる  
新たな家賃補助制度の創設

# 現状～「子育て罰」と言われる日本

「子どもを持つと生活が厳しくなる。」

これが「子育て罰」と言われる日本の現状です。

◆出生数は80万人割れ ◆先進国最低レベルの子育て予算

◆理想の子どもの数を持たない理由は、

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が約6割

◆仕事・育児・介護における女性の負担感が高い

◆実質賃金は減り、4割近くが非正規雇用 ◆未婚率の増加

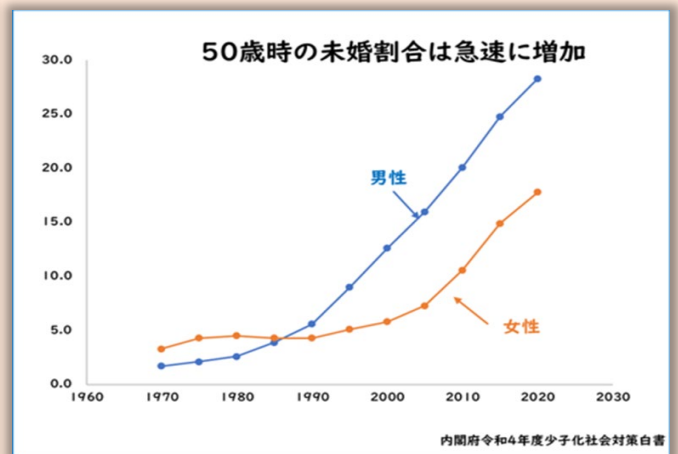
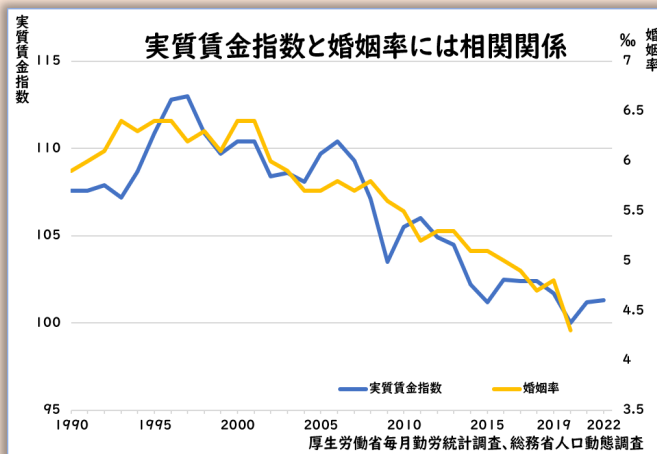
## 政府の政策は「小粒での的外れ」

### 「小粒」

- ・先進国に比べ、少ない予算
- ・児童手当は少額で、所得制限あり
- ・高校授業料無償化も、所得制限あり
- ・保育士配置基準は改善せず

### 「的的外れ」

- ・未婚者の増加に対する長期的で直接的な対策が不十分
- ・非正規雇用者対策が不十分
- ・住宅支援は、ほぼ皆無
- ・利用しにくいリカレント教育



お金

働き方

伝統的  
家族観

立憲民主党は

結婚・出産・子育て・学びの壁

を取り除きます。

学び

不安

家事育児  
負担